

# OLM Open Tools OLM Radial Blur ユーザーマニュアル

オー・エル・エム・デジタル

## 目次

1. はじめに	4
1.1. 対応している環境	4
1.2. インストール方法	4
2. OLM Radial Blurの適用方法	4
3. OLM Radial Blurのパラメータ	4
4. その他	9

## 著作権・使用許諾について

OLM Open Tools は Apache License Version 2.0 に基づいてライセンスされます。

## 更新履歴

2017/10/04      初版作成

Adobe、After Effectsは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

図4, 9, 10

©LEVEL-5／映画「妖怪ウォッチ」プロジェクト2016

図1, 5, 8, 11

©Hiro Morita, BBBProject, TV TOKYO

## 1. はじめに

OLM Radial Blurは、ある点を中心として放射状・円環状にブラーをかけることのできるAdobe® After Effects®用のエフェクトプラグインです。通常のRadial Blurと違い、不透明なピクセルから出て行く方向/向かってくる方向、右回り/左回りへの影響を独立して扱うことができます。

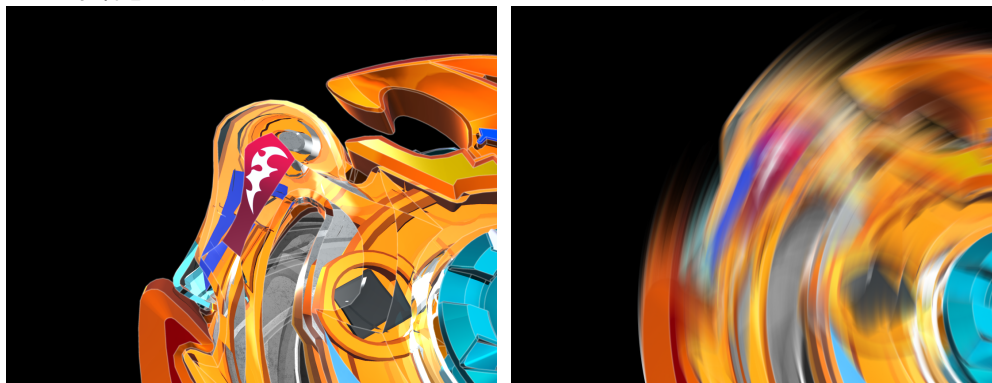


図 1 (左)元画像(右)OLM Radial Blur適用画像

### 1.1. 対応している環境

OLM Open Toolsの[ウェブサイト](#)を参照ください。

### 1.2. インストール方法

OLM Open Toolsサイトよりダウンロードしたzipファイルには、表 1に示すファイルが収められています。OLM Radial Blurをインストールするには、プラグインファイル「OLM Radial Blur.aex」をAfter Effectsのプラグインディレクトリにコピーしてください。

(例：C:\Program Files\Adobe\Adobe After Effects 2022\Support Files\Plugin-ins\OLM)

フォルダ名	ファイル名	説明
Plugins\[32/64]\[バージョン]	OLM Radial Blur.aex OLM Radial Blur.plugin.zip	各OS、AEバージョンに対応したプラグイン本体です。
Doc	OLM Radial BlurUserManual.pdf	OLM Radial Blurのユーザーマニュアルです。このファイルです。

表 1: zipファイル内に収められているファイル

## 2. OLM Radial Blurの適用方法

他のエフェクトと同じようにメニューバーの「エフェクト >> OLM Plug-ins >> OLM Radial Blur」と選択することで適用できます。

## 3. OLM Radial Blurのパラメータ

OLM Radial Blurには、以下に示すパラメータがあります。



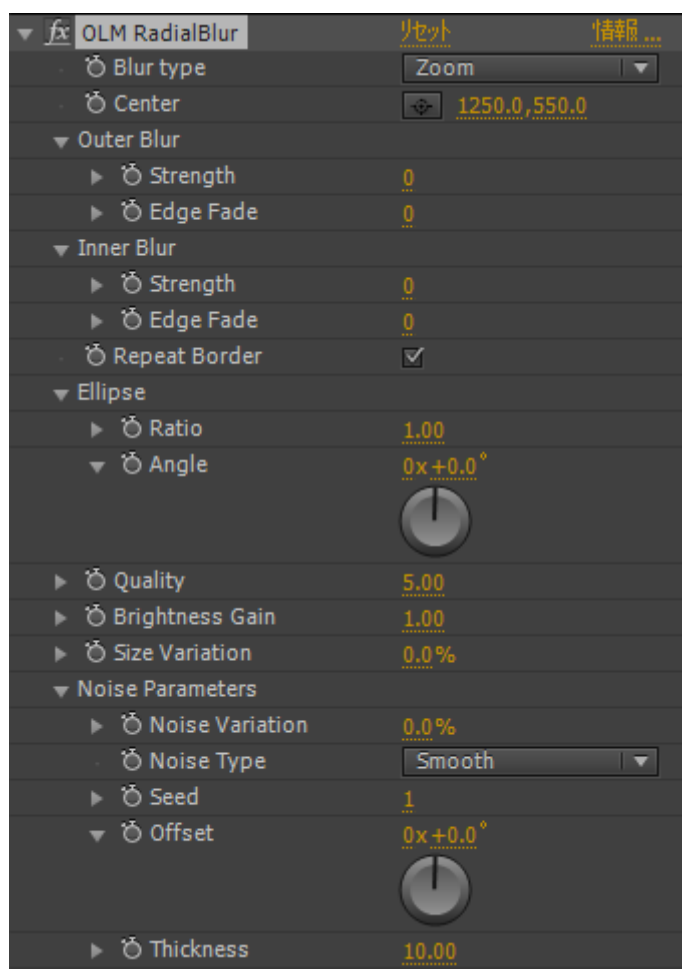


図 2 OLM Radial Blurエフェクトのパラメータ

1. **Blur Type** - ブラーの種類です。設定可能なパラメータは以下の通りです。

**Zoom** - 放射状のブラーを適用します。

**Rotation** - 円環状のブラーを適用します。

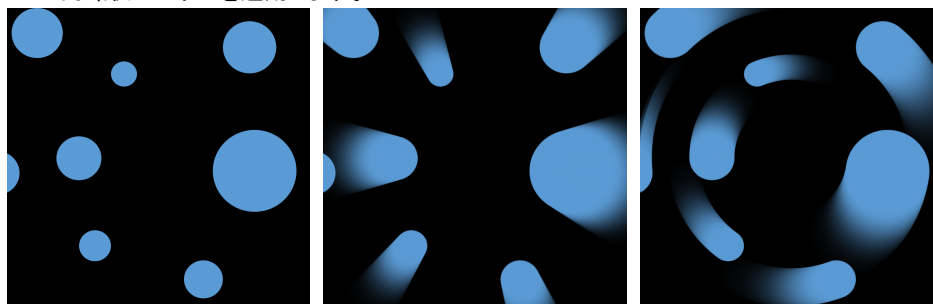


図3 ブラーの種類 (左)元画像(中央)zoom(右)rotation

2. **Center** - 放射・回転の中心座標です。
3. **Outer (Inner) Blur** - Outerは出て行く方向/右回り方向、Innerは向かってくる方向/左回り方向のブラーのパラメータです。
  - i. **Strength** - ブラーの強さを調整できます。設定できる値は「0」から「800」までです。
  - ii. **Edge Fade** - ブラーと同じ向きにアルファ値のフェードを発生させるパラメータです。Edge Fadeが1以上のときは、まずアルファ値のフェード処理が行われてから、その結果に対して通常のブラー処理が行われます。フェードの範囲は後述のSize Variationの影響をうけます。設定できる値は「0」から「100」までです。

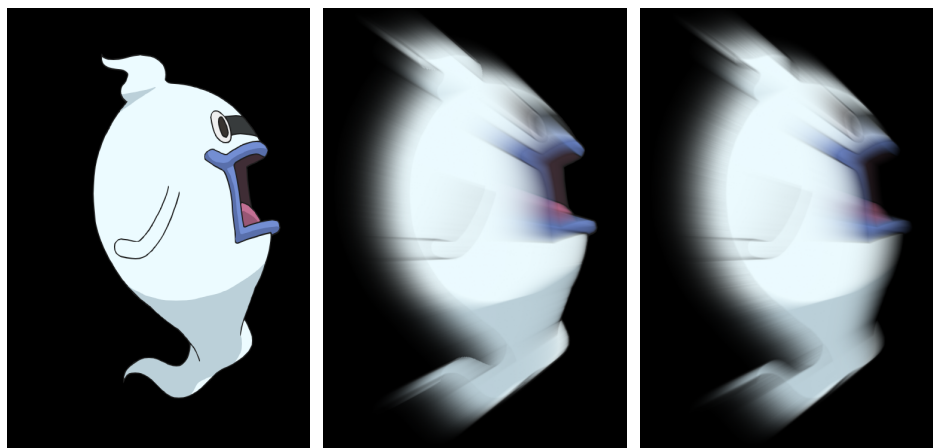


図4 (左)元画像 (中央)Edge Fade = 0 (右)Edge Fade = 100

4. **Repeat Border** - 画像端のピクセルの扱いを決定するパラメータです。Edge Fadeが有効の時には画像の端がフェードすることがあります。このパラメータを有効にしていると画像端のフェードを防ぐことができます。



図5 Repeat Borderの有無による違い(左)Off(右)On

5. **Ellipse** - ブラーの基準となる楕円の情報を決定するパラメータです。
  - i. **Ratio** - 楕円の長径と短径の比率です。この値が大きいほど細長い楕円になります。設定可能な値は「1.0」から「5.0」までです。
  - ii. **Angle** - 楕円の軸の角度です。

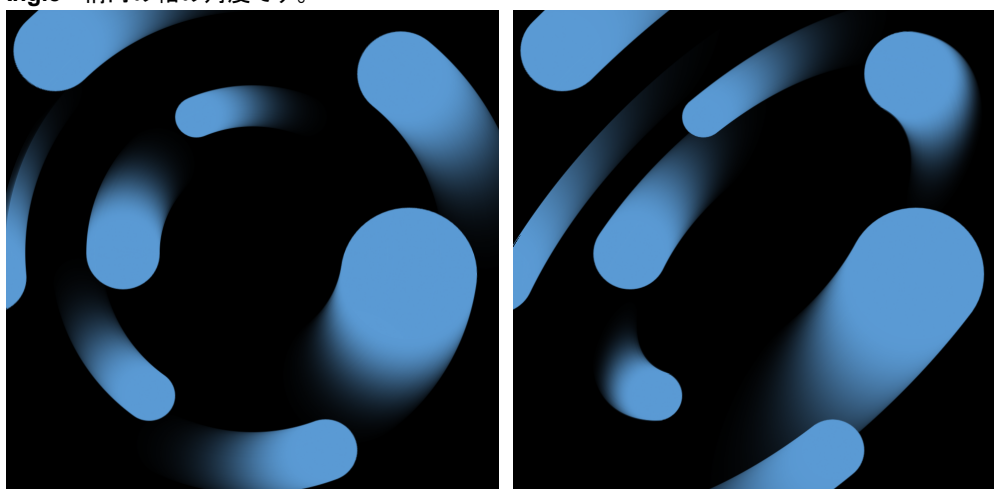


図6 Ellipseの設定による変化 (左)Ratio=1.0, Angle=0°(右)Ratio=2.0, Angle=45°

6. **Quality** - 結果のクオリティを調整するパラメータです。Centerから最も遠い点への距離が大きいときや

EllipseのRatioを大きくしたときは、画像の端に対して十分な解像度の結果を作ることができなくなります。そのような時はQualityを高くする必要があります。Qualityを高くすると計算コストが大きくなるので、必要最小限に抑えるべきです。設定可能な値は「1.0」から「50.0」までです。

7. **Brightness Gain** - 結果画像の輝度を調整するパラメータです。
8. **Size Variation** - サイズの異なる成分(不透明なピクセルの集合)ごとにブラーの強さを変更するためのパラメータです。一番大きな成分を基準として大きさに比例してブラーの強さが変わります。画像上でのつながっている集合をひとつの成分とみなしているため、重なっているものはひとつの成分と認識されます。このパラメータはEdge Fadeにも影響を与えます。設定可能な値は「0.0」から「100.0」までです。

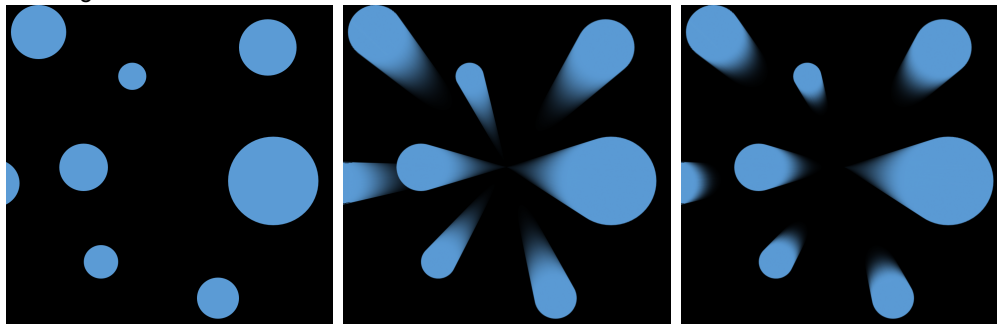


図7 (左)元画像 (中央)Size Variation = 0 (右)Size Variation = 70

9. **Noise Parameters** - ブラーの強さにノイズを入れるときに使用するパラメータです。これらのパラメータを調整することで、ピクセルごとにブラーの強さを変更し、ギザギザなブラーを生成することができます。
- i. **Noise Variation** - ノイズの影響の強さです。設定できる値は「0.0」から「100.0」までです。

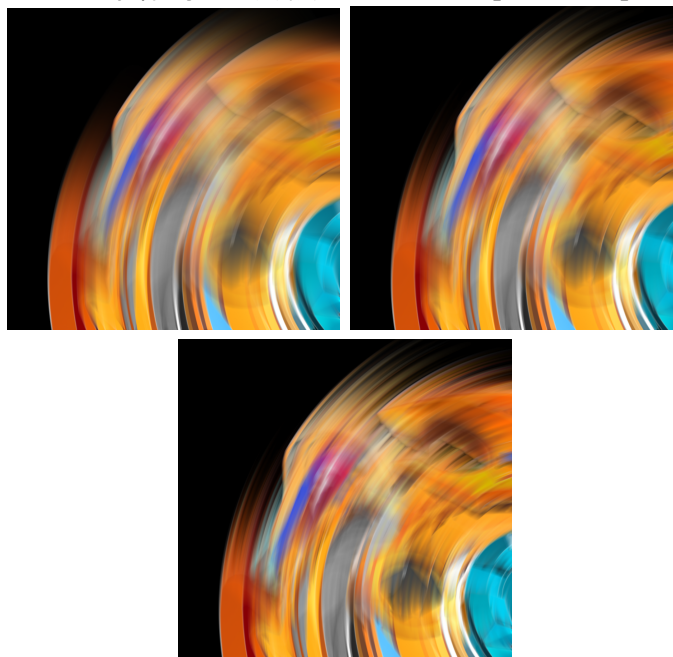


図8(左)Noise Variation = 0(中央)Noise Variation = 50(右)Noise Variation = 100

- ii. **Noise Type** - ノイズの種類です。設定可能なパラメータは以下の通りです。  
**Smooth** - ピクセルごとのブラーの強さに滑らかなノイズを付与します。デフォルトのパラメータです。  
**Block** - ピクセルごとのブラーの強さにブロックノイズを付与します。



図9 SmoothノイズとBlockノイズの違い(左)Smooth (右)Block

**Layer** - レイヤーを用いて任意のノイズを適用することができます。輝度の大きなピクセルはブラーが強く、輝度の小さいピクセルはブラーが弱くなります。このモードで用いるレイヤーはOLM Radial Blurを適用するレイヤーと同じサイズである必要があります。また、エフェクトが適用される前のピクセルが参照されるため、ノイズをエフェクトで生成する場合はプリコンポしたレイヤーを用いる必要があります。

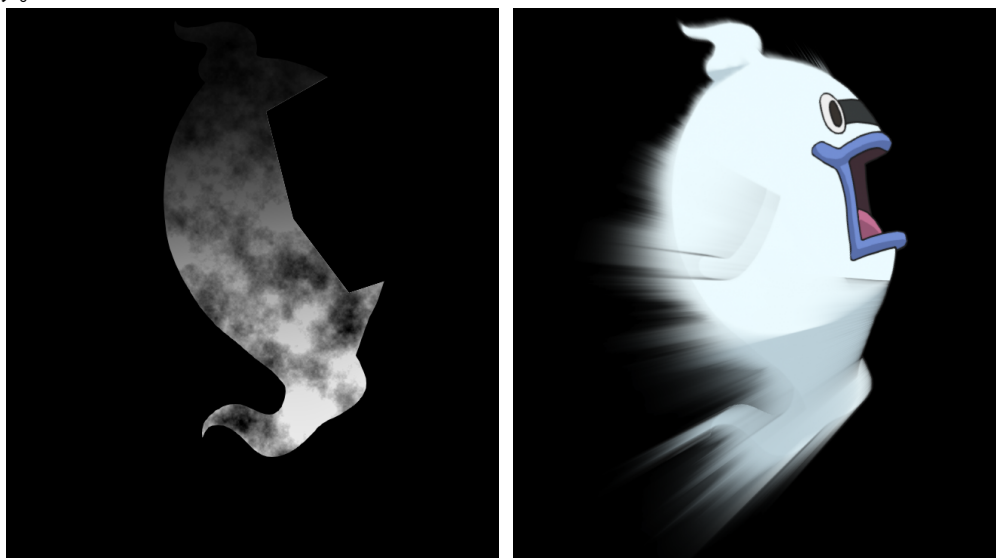


図10 レイヤーノイズを用いた結果 (左)ノイズレイヤー (右)適用画像

- iii. **Seed** - 自動で生成されるノイズのランダムシードです。この値を変えるとノイズのパターンが変化します。Noise TypeがSmooth及びBlockのときに有効です。
- iv. **Offset** - Seedと同様にこの値を変更するとノイズのパターンが変化します。Seedと異なり、この変化は連続的なものとなります。Noise TypeがSmooth及びBlockのときに有効です。
- v. **Thickness** - ノイズの変化の粗さを変更することができます。Noise TypeがSmooth及びBlockのときに有効です。設定できる値は「1.0」から「100.0」までです。



図11 左)Thickness = 5 (中央)Thickness = 15 (右)Thickness = 30

- vi. **Noise Layer** - ノイズとして用いるレイヤーを指定します。Noise TypeがLayerのときのみ有効です。

#### 4. その他

正常に動作しない、バグを発見した、もしくは機能追加要望などがある場合は、下記のメールアドレス宛にご連絡ください。

opentools@olm.co.jp